

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	会計学2 (Accounting 2) 2037323-118					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
<p>会計とは、特定組織の経済活動について貨幣額を用いて記録・計算し、その結果を報告するシステムである。本講義ではそのなかでも企業が株主や債権者等に向けて報告をすることを目的とする財務会計分野を扱う。会計と簿記は理論的側面と技術的側面で表裏一体のものであるが、会計学1・2では、理論的側面に絞って学んでいく。</p> <p>会計学2では会計学1で学んだ基礎的知識をもとに、資金の管理と運用、国際活動、税金と配当、個別および連結財務諸表などを学ぶ。国税専門官試験の「会計学」にも対応する科目である。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力を養う									
③ 授業の進め方・指示事項									
スライド資料等は Google Classroom を通じて配布する。有価証券報告書等を閲覧するためにタブレットやPCの持ち込みを推奨する。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「会計学1」と共に履修することを強く推奨する。									
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
<p>(i) 資金の管理運用、国際活動、税金と配当と会計の関わりを理解し、説明できる。</p> <p>(ii) 個別財務諸表と連結財務諸表について、その内容を理解し、説明できる。</p> <p>(iii)</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
桜井久勝・須田一幸（2021）『財務会計・入門（第14版）』有斐閣（改定版が出版された場合は、改訂版を使用する）									
⑦ 参考図書・指定図書									
中央経済社編『新版 会計法規集』中央経済社 桜井久勝『財務会計講義』中央経済社 いずれも最新版									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 資金の管理運用、国際活動、税金と配当と会計の関わり	各論点と会計の関わりについて具体例によって説明できる。	各論点と会計の関わりについて自らの言葉で説明できる	各論点と会計との関わりについて、教科書等に基づいて説明できる	各論点と会計との関わりについて、教科書等に基づいてキーワードのみ説明できる	各論点と会計との関わりについて、教科書等に基づいてキーワードが説明できない
(ii) 個別財務諸表と連結財務諸表の内容	財務諸表の内容について具体例によって説明できる。	財務諸表の内容を理解し、自らの言葉で説明できる	財務諸表の内容について、教科書等に基づいて説明できる	財務諸表に関するキーワードのみ、教科書等に基づいて説明できる。	財務諸表に関するキーワードも、教科書等に基づいて説明できない。
(iii)					

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 資金の管理運用、国際活動、税金と配当と会計の関わり	40%	10%						50%
(ii) 個別財務諸表と連結財務諸表の内容	40%	10%						50%
(iii)								
フィードバックの方法								

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
適宜、国税専門官試験の問題等に触れながら、内容の理解と定着が行われるようにしたい。	

⑪ 授業計画と学習課題		
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）

1	ガイダンス	前期の内容について復習しておく	60分
2	資金の管理と運用① (現金預金、有価証券)	現金預金の範囲と、有価証券の範囲や評価について調べておく	60分
3	資金の管理と運用② (キャッシュ・フロー計算書、デリバティブ)	キャッシュ・フロー計算書の内容と意義、デリバティブの種類について調べておく	60分
4	国際活動① (外貨建取引)	外貨建取引の処理方法について調べておく	60分
5	国際活動② (在外子会社の財務諸表、国際会計基準)	在外支社・子会社の財務諸表の換算方法と、IFRSの意義について調べておく	60分
6	税金と配当① (税金と剰余金の配当)	企業は納める税金の種類、剰余金の配当について調べておく	60分
7	税金と配当② (配当制限、剰余金の処分)	債権者保護としての配当制限、積立金の設定などの剰余金の処分について調べておく。	60分
8	財務諸表の作成と公開① (財務諸表の体系、P/L、B/S)	財務諸表にはどんなものがあるのか、特に損益計算書と貸借対照表についてその仕組みと表示方法を調べておく	60分
9	財務諸表の作成と公開② (その他の財務諸表)	P/L、B/S以外の財務諸表(キャッシュ・フロー計算書を含む)について、どのような種類あるのかを調べておく	60分
10	企業集団の財務報告① (連結財務諸表とは)	企業集団としての財務諸表である連結財務諸表とは何かについて調べておく	60分
11	企業集団の財務報告② (連結財務諸表の内容)	連結財務諸表の種類と内容について調べておく。	60分
12	企業集団の財務報告③ (セグメント情報・合併)	セグメント情報とは何か、企業の合併とは何かについて調べておく。	60分
13	問題演習①	前期の範囲も含めて、教科書の内容を復習しておく。	60分
14	問題演習②	後期に学んだ範囲について教科書の内容を復習しておく。	60分
15	まとめ	特に後期に学んだ内容について、教科書だけでなく授業で触れた具体例などもふくしゅうしておく。	60分

## ⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。進度に応じて、国税専門官の「会計学」過去問などを小テストとして実施する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性